

ダム点検技術カタログ

令和5年3月

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課

はじめに

ダム点検技術カタログ（以下「技術カタログ」という。）は、河川管理施設であるダムの点検、監視、計測や巡視（以下「点検等」という）について、現場への一層の新技术導入を促進し、点検等の効率化・高度化を図るため、ダム分野の点検者等のユーザーに有効な技術の選択肢を提示することを目的としている。このため、本技術カタログでは、「ダム施設」、「貯水池」の「点検技術」を掲載技術とし、掲載ルールに基づき、新技术情報提供システム（以下、NETISという）に掲載されている技術や、革新的河川技術プロジェクト等の技術開発公募により開発された技術等、公的機関等の公募等により開発されたダムの点検等に採用可能な技術をカタログ形式でとりまとめている。

本技術カタログは、第1章ダム点検技術カタログの活用にあたって、第2章ダム点検技術カタログからなり、第2章では、画像計測技術、非破壊検査技術、計測・モニタリング技術、データ収集・通信技術の4技術のカタログから構成されている。

各カタログの定義は、現時点では以下としている。

- ・ 画像計測技術カタログ
ダム施設及び貯水池の画像を撮影又は計測する技術、画像を処理し調書作成を支援する技術
- ・ 非破壊検査技術カタログ
ダム施設の変状を外部から非破壊検査により計測する技術。非破壊検査とは、構造の外部から計測を行い、その結果から、破壊調査・試験で得られる物理量を推定したり、構造又はその一部を破壊せずに構造の内部の変状の位置や分布を推定したりする行為
- ・ 計測・モニタリング技術カタログ
ダム施設及び貯水池をセンシング又はモニタリングする技術
- ・ データ収集・通信技術カタログ
ダム施設及び貯水池に設置したセンサ等により計測したデータを収集し、通信技術によりデータ転送する技術

ダム施設及び貯水池の点検等において、本技術カタログに掲載された技術を参考に、活用する技術の選定を行うことが考えられるが、掲載のない技術についても、標準項目の性能値を受注者に求め、目的に適合するかの確認をもって活用されることも、さらなる技術開発等には重要と考えている。また、今後の技術開発の進展に応じ、本技術カタログに掲載した技術は適宜見直しを行う予定である。

目 次

第1章 ダム点検技術カタログの活用にあたって	1-1
1. 用語の定義	1-2
2. ダム点検技術カタログの活用について	1-3
3. 性能規定の考え方、掲載対象技術について	1-3
4. ダム点検技術カタログの標準項目について	1-6
5. ダム点検技術カタログに関する相談窓口の設置	1-9
第2章 ダム点検技術カタログ	2-1
画像計測技術	2-4
非破壊検査技術	2-89
計測・モニタリング技術	2-145
データ収集・通信技術	2-243
付録1 ダム点検技術カタログの標準項目	付録 1-1
付録2 技術の性能確認シート	付録 2-1